

新

聞

第3種郵便物認可

イクメン夫は妻が育てる

いえ、マウス夫婦の話です

「イクメン」は妻が育てる——マウスを使った実験で、母親が父親に対して育児を促すサインを出すことがわかった。子どもをいったん引き離すと、鳴き声や分泌物において母親が危機を訴え、父親が子育てを始めたという。

金沢大学などのチームが9日付の英科学誌ネイチャーコミュニケーションズに発表した。

マウスの父親は新生児を口にくわえて運んだり、体をなめてきれいにしたりして養育行動をすることがある。金沢大の東田陽博^{（トシヒロ）}特任教授（神経化学）らは実験で、マウスがどんな環境や条件で子育てをしたり放棄したりするのかを調べた。

夫婦と新生児の家族のかごから、両親と子を「別居」させ、片方の親だけ戻す計8パターンの実験をした。父親は別のかごに「単身赴任」した後で戻された場合は育児を放棄。ただ、母親のにおいが残るかごに入れるか、夫婦でいっしょに過ごさせた場合は育児をしたという。

東田氏は「かごに残る母親のフェロモンが声の影響で、子育てを忘れなかった」と分析している。メカニズムを解明すれば、マウスでの対人コミュニケーション障害の研究ができる可能性があるという。（石塚広志）

フェロモンが声の影響 金沢大など実験